

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月30日

2次評価日（課長等） 30年3月30日

1 事業名	産業連携・交流推進事業	コード	11404
-------	-------------	-----	-------

2 担当部課	部等 産業振興部	課等 工業振興課	作成者 下田典弘
--------	----------	----------	----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち		
		政策	基幹産業の振興	施策	工業の振興
		予算科目	産業連携・交流推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市内企業間の情報交換及び先進地視察等の活動支援。また、産学官金連携や都市間交流により、市内企業の受発注活動支援を行う。		
目的	対象者	関係機関、大学等	
	意図	産学官連携の推進、都市間交流による受注機会の確保	

5 事業の実施内容	*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
前年度の課題への対応	<p>■岡谷市金属工業連合会、機械精密工業会、表面処理工業会、電気工業会、計量器工業会の事務局として、市内企業間の情報交換や先進地視察等の工業会活動を支援した。 （視察先：広島県福山市 参加者：10社10名）</p> <p>■産学官金連携推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信州大学と連携し、「エンジニアのための教養講座2017」を開催した。 （計8回 のべ131名） ・国等関係機関と連携し「ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金説明会」を開催した。 （参加者数30名） ・信州大学と連携し技術相談会を開催した。（参加企業1社） 		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）
① 活動指標（指標名）	開催数			単位 回
実績値	4	3	4	
*指標の説明	交流会、情報交換会、視察等の開催数			
② 成果指標（指標名）	参加者数			単位 人
目標値	49	16	19	40
実績値	16	19	40	
達成度	32.7%	118.8%	210.5%	
*指標の説明	情報交換会等の参加者数			
*目標値の設定方法の説明	定員人数			

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	3,918,935	3,570,984	3,542,707	3,579,000
経常経費	3,838,475	3,476,284	3,542,707	3,579,000
臨時的経費	80,460	94,700	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	4,400,000	4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数(人)	0.55	0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト(①+②)	8,318,935	7,570,984	7,542,707	7,579,000
前年度比		91.0%	99.6%	100.5%
財源				
一般財源	8,318,935	7,570,984	7,542,707	7,579,000
内訳				
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	2,059,619	2,492,095	1,885,677	
前年度比		121.0%	75.7%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
ジェトロ諏訪支所負担金	件数	1	1	1	1
	金額	694,000	813,000	813,000	813,000
産業のまちネットワーク協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	30,000	30,000	30,000	30,000
スマートネットワーク負担金	件数	1	0	0	0
	金額	10,000	0	0	0
諏訪東京理科大学地域コンソーシアム推進協議会負担金	件数	1	1	1	0
	金額	80,460	80,320	80,320	0
諏訪圏ものづくり推進機構補助金	件数	1	1	1	1
	金額	2,748,806	2,419,519	2,417,370	2,276,000
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	3,563,266	3,342,839	3,340,690	3,119,000
	割合	90.92%	93.61%	94.30%	87.15%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	210.5%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	210.5%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 産学官金連携するには、常に最新の情報を共有し、時代や企業ニーズに合った支援を実施する必要がある。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 各支援機関の担当者と情報交換を行い、連携した支援を実施することにより、より効果的な企業支援を実施する。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---